

## 「第18回コンプライアンス委員会」議事要旨

- 1 日 時 令和7年3月4日（火） 14:00～15:35
- 2 場 所 機構北館6階大会議室
- 3 出席者 瀬島委員長、森田委員長代理、友常委員（外部有識者）、新納委員、藤野委員、藤島委員、津川委員、得田委員  
天羽理事長、守山監事、渡邊監事、各総括調整役、各部長、各地方事務所長、事務局（計29名）
- 4 資 料 第18回コンプライアンス委員会（令和6年度）
- 5 議 事
  - (1) 令和6年度コンプライアンス推進計画に基づく取組実績について  
令和6年度コンプライアンス推進計画に基づく取組実績について、計画のとおり実施した旨、事務局から報告があった。  
また、友常委員から「コンプライアンスの基本」をテーマに情報提供があり、近時のコンプライアンスの概念には、法令遵守のみならず社会規範や倫理の遵守が含まれており、特に近時の社会規範は速い速度で変化していること、コンプライアンスの推進を妨げる事案を防止するために重要な取組として、「企業文化（風通しの良い組織、失敗を許容する文化、心理的安全性の高い組織）の醸成」とともに、「経営陣がコンプライアンスに対する姿勢を継続的に示してリーダーシップを発揮すること」、「レポーティングライン（指揮系統）の充実とともに内部通報制度を整備すること」、「現場（特に中間管理層）と経営陣の間の双方向コミュニケーションを充実させること」、「業務委託先のコンプライアンス体制を支援すること」、「前例踏襲型の業務を行う場合であっても、都度、社会規範の変化を意識してコンプライアンスに対する認識を見直すこと」等の助言があった。  
これを受け、機構として引き続きコンプライアンスを推進していくことを確認した。
  - (2) 令和7年度コンプライアンス推進計画（案）について  
令和7年度コンプライアンス推進計画（案）について、審議の結果、案のとおり了承された。
  - (3) その他  
他の法人等におけるコンプライアンス推進を妨げる行為の事例について、事務局から紹介があった。